

千枚田だより

全国棚田サミット開催 決まる

九月五・六の両日、全国棚田(千枚田)サミットが岐阜県恵那市の坂折棚田で盛大に開催されました。

その、首長会議において第十一回全国棚田(千枚田)サミットが平成十七年に鳳来町で開催されることが正式に決定されました。

決定の瞬間、鳳来町から出席した関係者は全員が立ち上がり、「鞍掛山麓千枚田保存会」の法被を着用、精一杯のアピールをしました。

開催は、愛知万博の開かれる平成十七年に併せて要望した経緯もあり、正式に決定したことが、喜びもひ

としおであります。

このサミットは全国的な規模で行われ、毎年千人以上の出席者があり、大きなイベントになります。

千枚田生き物観察会

去る七月二十七日、親子の自然観察会を鳳来町と鞍掛山麓千枚田保存会の主催で「素晴らしい景観と様々な機能を持つ棚田で生き物の観察をしましょう」という呼びかけで親子の自然観察会を行いました。

鳳来寺山自然科学博物館学術員を講師に迎え、棚田に棲息する生物、植物を観察、生態も学びました。

観察会には名古屋市、豊橋市、豊川市、新城市、浜松市から七組の親子二十人が参加、棚田の自然を満喫

しました。

参加者のアンケートを要約しますと、①「参加の理由」は自然とふれあい、親しみ、子供に自然のありのままの姿を見せたかった。

②「おもしろかったこと、おもしろくなかったこと」では千枚田の景観、自然がすばらしかった。顕微鏡観察がおもしろかった。生き物がいっぱいいて驚いた。

③「田舎にきて体験したいこと」は田植えや稲刈りを体験し、実際に収穫したら棚田の苦労もよくわかる。ソバうち、餅つきをしたい。星空観察をしたい等の解答がありました。

観察会の途中、「田子作」の方達が田圃の草取りを行っていました。代表の今泉良治さんから田圃の土の中には何億という微生物があり、この微生物が、美味しいお米を作ってくれる。安

全なお米を作るには有機、無農薬が絶対必要であることを教わりました。

日本の棚田百選

四谷の千枚田は日本の棚田百選に認定されています。

農水省は「日本の棚田百選」を平成十一年七月二十六日に百三十四地区(百七十七市町村)の認定を行いました。

棚田は、その立地条件を活かした特色ある農業生産の場として国民生活に寄与しているのみならず、急峻

な地形を巧みに利用した農業生産活動を通じて、国土

・環境の保全、農村の美しい原風景の形成、伝統、文化の継承等多面的な機能を發揮、国民の健康的でゆとりある生活を確保する上からも大きな役割を果たしていることが選定条件となっております。

◆八畝で二十八枚

今泉雅男さんの田圃は八畝で二十八枚もあります。作業道ができるまでは、「しよいた」で道までせおつており、道ができて有り難いと言っておりました。



千枚田の現状

昭和四十六年、休耕施策が施行されるまでは千二百九十六枚の田圃が作られていた。その後、減反施策と高度経済成長に伴い都市への労働力の供給から休耕、水田放棄が加速した。

平成八年鳳来町がまとめた千枚田の状況は

総面積 七百三十六アール
総枚数 八百五十二枚
耕作枚数 五百四十七枚
米作 三百七十三枚
転作 百七十四枚
管理保全、林地、耕作放棄 三百五枚
平成十三年稲作付枚数(空撮) 三百九十九枚
平成十五年稲作付枚数 四百十五枚
耕作者 二十九名

棚田とともに生きるふるさと

― 整備と保全 ―
サミット日程
基調講演

後藤生也氏
大分県九重野地区担
い手推進協議会会長

現在の農業情勢や

中山間地域における、

自らの実践活動(直

接支払い制度・集落

営農など)を含めた

農家・農業者側から

の視点に立つて講演

分科会

分科会はそれぞれの
コーディネーターによ

り討議された。

第一分科会

伝統的文化景観としての

棚田

棚田景観を地域ないし民
族の文化財と考え、棚田の
歴史的・生態的な構造と現
代的な構造を探る。

第二分科会

制度による棚田の保全と

地域活性化

オーナー制度の立ち上げ
までの取り組み、その内容
受入れ組織、都市住民との
交流、地域活性化に向けて
の展開などの議論。

第三分科会

棚田米の「魅力」多様な

需要とマーケティング

「売れる米」づくりとは

米の用途は主食、酒等、様々

である。米の多様な需要を

踏まえて自己の棚田米はど

の需要に適しているか等、

目標を立てて生産・流通体
制を整えることが必要であ
る。

第四分科会

生物の多様性と棚田

棚田にはどんな生物がい

るか。また、どのように利
用(食べる)されているか。

第五分科会

棚田保全のための整備

美しい景観の棚田を後生

まで残したいが、未整備の
状態では残すことができな
い。農家の望みを叶えるに
は、棚田の整備が必要だ。
急傾斜地の棚田に適する整
備方法の導入と適用につい
て議論した。

第六分科会

直接支払制度による中山

間・棚田地域の再生

「中山間地域直接支払い

制度」の意義と課題を探る。

来年度に予定されている本

制度の見直し(次期対策)を

念頭において、後の制度の
あるべき姿について議論。

その他

直接支払制度は当初五
年間として出発したが、五
年間で終わるとは言ってい
ない。(農水省)

サミット宣言文の共同宣
言で直接支払制度の継続を
要望した。

トピックス

◇ NHKで「おいしいニ
ッポン 今日とはとことん愛
知県」愛知1000人のメッ
セージ 放送される。
放送日 九月二十八日
午前十時から午後七時の間

NHK衛星第二テレビ

(BS2)

「千枚田にきておくれん」
と高橋庄一さん、村雲伸一
さん、小山舜二さんの三名
がアピール。

湧き水

念願の棚田サミ
ット開催が正式に決まった
ことは感慨の至りである。
これだけ大きなイベントは
平成六年の愛知国体山岳競
技以来である。おそらく、
この地において最初で最後
のイベントになるろう。さあ、
気を引き締めてかからなけ
れば。(舜)

発行 平成十五年九月二十日

鞍掛山麓千枚田保存会

第九回全国棚田(千枚田)

サミット概要

開催年月日

平成十五年九月五・六日

開催場所

岐阜県恵那市(坂折棚田)

テーマ

